



トピックス

- 令和5年度事業計画・予算
- ボランティア保険のご案内
- 赤い羽根作品コンクール作品募集
- 新入職員紹介
- 講座・教室参加者募集
- 支え合い通信
- ボランティア紹介リレー

写真は3月26日(日)に開催した「ボラまっちいちのみや」の様子です。ボランティアを「したい人」と「してほしい人」をマッチングすることを目的に開催し、21のボランティア団体がブースをかまえ、来場者は自由に足を運び、実際にマッチングしていました。

本会ではボランティア活動を始めのきっかけや「ふくし」に関心を持っていただくためにさまざまな取り組みをしています。今月号には講座・教室のご案内が盛りだくさんです。ぜひご参加ください！

令和5年度 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 事業計画書

少子高齢化・人口減少、介護や経済格差に伴う貧困問題、地域社会からの孤立などへの対応が求められている中、新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢の変化が、住民相互のつながりの希薄化や生活困窮状態の深刻化を加速させ、福祉課題もより一層複雑・多様化しています。これまでの制度ごとの支援や「支え手」・「受け手」という関係の支え合いから、分野をまたがった総合的な支援と地域住民や多様な主体が「丸ごと」つながる支援へと転換することが求められています。

このような状況のなか、国は「地域共生社会」の実現に向けて、地域にある課題を他人事ではなく「我が事」として捉え、地域住民の共助による「ともに創る住みよいまちづくり」を目指し、「包括的支援体制」の整備を進めています。

さらに、国際的には豊かで活力ある未来を創る「持続可能な開発目標（SDGs）」が示され、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて、官民一体となって取り組みが進められています。

こうした背景の中、地域福祉推進の中核を担う社会福祉協議会の役割はますます大きくなってきています。そのため、本会は地域生活課題の解決に向けて、住民主体の理念を掲げながら、令和5年3月に市と一体的に策定した「一宮市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を深め、きめ細やかな地域福祉活動を展開してまいります。

みんながつながり支え合い、地域が織りなす共生社会の実現をめざし、以下の基本方針により地域福祉の充実に取り組みます。

基本方針

1 地域課題への対応

重層的支援体制整備事業への移行準備として、「属性を問わない相談支援」「多様な参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する包括的な支援が円滑に進められるよう体制づくりを図ります。

ちょこボラサービスなどの住民の助け合いの理念に基づく事業を進めるなど、住民主体の福祉のまちづくりを目指し、地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。

地域での居場所づくりの一環として取り組まれている「ふれあい・いきいきサロン」につきましては、「出張サロン」や「サロンの立ち上げ支援」を引き続き実施し、安定したサロン運営ができるよう支援します。

2 地域福祉活動の推進

地域福祉事業につきましては、支会間の情報交換に努め、支会活動の充実に努めるとともに、職員が積極的に地域へ出向き、支会との連携を深めます。

ボランティアセンター事業につきましては、「いちのみやボランティアフェスティバル」を開催し、ボランティア活動の啓発を図るとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。

障害者福祉活動事業につきましては、「障害者スポーツ推進事業」を実施し、ユニバーサルスポーツの普及に努めます。

日常生活自立支援事業につきましては、制度の周知に努め、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方が自立して生活できるよう支援します。

3 介護サービスの充実

介護保険・障害福祉サービス事業につきましては、介護ニーズが増加し続ける中、介護保険法・障害者総合支援法の改正、報酬改定などの影響を見極めるとともに、介護職員の人材確保を図り、収支改善を進めることで健全かつ安定した経営に努めます。

また、職員の福祉に関する資格取得の推進・バックアップと若手職員の育成・スキルアップのための研修体制の充実を図り、積極的にオンライン研修なども取り入れ、引き続き職員の資質向上に努めます。

さらに、「介護サービス情報の公表制度」の適格事業所、「愛知県介護事業所人材育成認証評価事業」の認証事業所として、ますます利用者から信頼される質の高いサービスを提供します。

4 安定した相談支援体制の確立

障害者相談支援事業につきましては、在宅の障害者の地域生活を支援するため、障害者とその家族等からの多岐にわたる相談に応じ、障害者基幹相談支援センターや障害者自立支援協議会等、関係機関と連携して問題解決に取り組んでいきます。

また、「指定相談支援事業所」として、障害者がその有する能力や適性に応じ、自立した日常生活を営むことができるような確かなケアマネジメントを行い、質の高い相談支援サービスを提供します。

5 法人運営の強化

法人の経営組織の強化及び事業運営の透明性の向上、職員の資質向上、財務規律の強化、会員の増強を図り、広報紙、ウェブサイトを活用して市民にわかりやすい情報を発信し、信頼される法人運営に努めます。

また、働き方改革の実現に向け、安全で健康に働くことができ、やりがいを感じる職場づくりに努めます。

令和5年度 資金収支予算

収 入

(単位：千円)

介護保険・障害福祉サービス等	233,943
補 助 金	155,079
受 託 金	81,847
会 費	52,936
繰 入 金	43,753
共 同 募 金 配 分 金	33,072
貸 付 事 業	1,027
寄 付 金 そ の 他	30,941
前期末支払資金残高	194,575
合 計	827,173

寄付金その他 3.8%

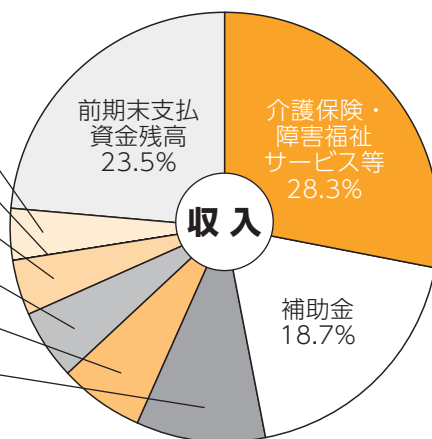
貸付事業 0.1%

共同募金配分金 4.0%

繰入金 5.3%

会費 6.4%

受託金 9.9%



支 出

(単位：千円)

居宅介護等事業	218,449
法人運営事業	188,370
地域福祉活動推進事業	53,581
居宅介護支援・認定調査事業	44,200
相談支援事業	42,561
共同募金配分金等事業	41,301
一宮市受託事業	14,820
貸付事業	11,703
ボランティアセンター活動事業	10,863
福祉サービス利用援助事業	10,231
自販機設置事業	1,094
基金運営事業他	22,475
当期末支払資金残高	167,525
合 計	827,173

基金運営事業他 2.7%

自販機設置事業 0.1%

福祉サービス利用援助事業 1.2%

ボランティアセンター活動事業 1.3%

貸付事業 1.4%

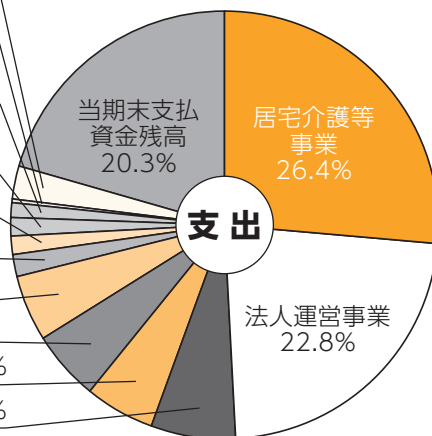
一宮市受託事業 1.8%

共同募金配分金等事業 5.0%

相談支援事業 5.1%

居宅介護支援・認定調査事業 5.4%

地域福祉活動推進事業 6.5%



ボランティア保険のご案内

● ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(損害賠償事故)などの事故を補償する保険です。

☑ 年間保険料(1名あたり)

	A プラン	B プラン	C プラン
基本プラン	250 円	300 円	500 円
天災プラン	400 円	500 円	800 円

補償期間
加入日翌日から
令和 6 年 3 月 31 日まで

天災プランとは 地震・噴火・津波によるケガも補償するプランです。

● ボランティア行事用保険

ボランティア活動に関する各種行事における主催者および参加者のケガや賠償責任を補償する保険です。

☑ 保険料

日帰り				宿泊
A 行事	B 行事	C 行事	現地集合行事	1 泊 2 日～
30 円	128 円	251 円	30 円	223 円～

補償期間
行事開催期間中

★受付窓口：本部・尾西支部・木曽川支部

★加入申込書には代表者の押印(または署名)が必要となります。なお、法人で加入される場合は必ず印鑑をお持ちください。

いちぴょんが市内社会福祉施設等に出張(貸出)します!

いちぴょんに会いたい! イベントに参加してほしい! という福祉施設・団体に貸し出しています。

希望される場合は、本部までご連絡ください。

【問合せ】本部 Tel85-7024



いちぴょんのイラストがダウンロードできます



138sk

🔍 検索



くわしくは、本会ウェブサイトをご覧ください。

第75回

赤い羽根

作品コンクール

<作品大募集>

【応募期間】

7月3日(月)～8月18日(金)

【受付時間】

午前9時～午後5時15分(土日、祝日除く)

※提出先は下記<留意事項>をご覧ください。

募 集 作 品

【書道の部】

小学校3・4年生

小学校5・6年生

中学校1～3年生

<注意点>

①用紙は書道用半紙とする。

②書体は問わず、墨書でたて書きとする。

「ぼきん」「赤いはね」「たすけあい」から1点

「共同募金」「赤い羽根」「思いやり」から1点

「共同募金運動」「赤い羽根募金」「地域福祉活動」から1点

【ポスターの部】

小学校1年生～中学校3年生

「たすけあい」「社会福祉」「赤い羽根」「共同募金」などの意味を含んだもの。

<注意点>

画用紙の大きさは四つ切(54cm×38cm程度)とする。規格以外の画用紙を使った場合は対象外となります。

☆応募作品は各部とも1人1点に限ります。重複して提出しないようご注意ください。

優秀作品の展示もありますので、たくさんのご応募お待ちしております。



<留意事項>

◎市内在住・在学の方が対象です。

◎下記の申込書を本会ウェブサイトからダウンロードし、作品の裏面右下に添付してください。

◎作品の返却はしません。

◎直接窓口にご提出ください(郵送不可)。

※提出先は下記①～③です。8月18日(金)受付時間までにご提出ください。

138sk

検索

①本部

〒491-0858 栄3丁目1番2号
(尾張一宮駅前ビル4階)

②尾西支部

〒494-8601 東五城字備前12番地
(尾西庁舎4階)

③木曽川支部

〒493-0001 木曽川町黒田字西沼51番地
(高齢者生きがいセンター内)

赤い羽根作品コンクール申込書

ふりがな

氏 名

住 所

電話番号

学校名

学年

見 本

<問合せ>

一宮市共同募金委員会
(社会福祉協議会内)

一宮市栄3丁目1番2号
(尾張一宮駅前ビル4階)

TEL 85-7024



講座受講者募集!



点訳講習会(全10回)

「点字って難しそう…」そんなイメージを持っている方はいませんか? 本講座は、初心者でも安心して受講できる内容です!

日 時	6月26日～9月11日 毎週月曜日 午後1時30分～3時30分 ※ただし、祝日・8月14日は除く
会 場	社会福祉協議会 本部(栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階)
対 象	市内在住・在勤で点訳に関心があり、ボランティア活動を希望する方
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料(ただし、テキスト代770円が必要です)
申 込 み	期間:6月9日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/PNG8H2Zxutck364q8



手話奉仕員養成研修(入門)(全20回)

初心者・未経験者向けの講座です。
一緒に手話を覚えましょう♪

日 時	7月11日～11月28日 毎週火曜日 午前9時30分～11時30分 ※ただし、8月15日は除く
会 場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12番地)
対 象	市内在住で、聴覚障害の福祉や手話ボランティアに関心のある方
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料(ただし、テキスト代3,300円が必要です)
申 込 み	期間:6月30日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/aB8Wp8TGSXZ7qLgK9



手話奉仕員養成研修(基礎)(全25回)

経験者向けの講座です。手話技術の
レベルアップを目指しましょう。

日 時	6月28日～12月20日 毎週水曜日 午後7時～9時 ※ただし、8月16日は除く
会 場	社会福祉協議会 大和事務所 会議室(大和町宮地花池字中道9番地16)
対 象	市内在住で、2年以内に手話奉仕員養成研修(入門)を受講した方、または、手話サークルに在籍している方で、将来手話通訳者を目指す意思のある方
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料(ただし、テキスト代3,300円が必要です)
申 込 み	期間:6月16日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/AZJJqiZkTDpsj4PN9



夏休みこども手話教室(全5回)

手話で自己紹介にチャレンジしてみませんか？

日 時	7月26日～8月30日 毎週水曜日 午前9時30分～11時 ※ただし、8月16日は除く
会 場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12番地)
対 象	市内の小学5・6年生 手話に関心のある児童
定 員	20名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料
申 込 み	期間:6月30日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/xelD3P3D2DMAXWFC7



夏休みこども点字教室(全5回)

自分の好きな絵本で点字の本を作ってみよう！

日 時	8月3日～8月31日 毎週木曜日 午後1時30分～3時30分
会 場	高齢者生きがいセンター2階 介護用品展示室(木曽川町黒田字西沼51番地)
対 象	市内の小学5・6年生 点字に関心のある児童
定 員	12名(応募多数の場合は抽選)
受 講 料	無料
申 込 み	期間:6月30日(金)まで 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募ください。 https://forms.gle/gNKaHeb5bvRRW5JGA



『こどもボランティアスクール』開講のお知らせ

学校や学年の異なる子どもが互いに協力し合い、体験学習を行いながら「ふくし ～ふだんのくらしのしあわせ～」について学びます。



対 象：市内の小学5年生、6年生
定 員：20名(応募多数の場合は抽選)
受講料：無料

申込み：6月30日(金)まで 下記URLもしくは右記二次元コードから申込みフォームでご応募ください。
<https://forms.gle/zjCEVgoese6AuXfp8>

【申し込みに際しての注意】

- ・原則、全日程の参加としますが、下記①～⑥のうち5つ以上の参加が可能であれば受け付けます。
- ・申し込みは児童と保護者がよく相談し、必ず保護者が行ってください。

日 時	体 験 内 容	会 場
7月27日(木) *弁当持参	午前9時30分～午後3時 ①福祉車両を見学しよう！ ②発達障害について学ぼう！	尾西庁舎1階 講堂 尾西庁舎4階
9月3日(日)	午前9時30分～午後3時 ③目や耳の不自由な人と一緒にカレーを作って食べよう！	尾西庁舎5階
10月21日(土) 22日(日) *どちらか1日のみの参加でも可	午前9時30分～午後3時30分 ④赤い羽根共同募金の街頭募金をお手伝い！	尾西市民会館(びさいまつり)会場周辺
12月2日(土)	午前9時30分～正午 ⑤ブラインドサッカーをやってみよう！	尾西スポーツセンター
令和6年1月 7日(日) *弁当持参	午前9時30分～午後3時 ⑥ボランティア探検隊「まちのやさしさを探してみよう！」	尾張一宮駅前ビル(i-ビル)4階

*都合により、内容や場所を一部変更する場合があります。



参加費無料

暮らしに役立つ!



気軽に学べる スマホ講座



「スマホを買ってみたけれど、使い方がわからない」「興味はあるけど、難しそう」など悩んでいる方はいませんか? 講座では、1人1台のスマートフォンをお貸して、基本操作を体験します。また、ご自身の持っているスマホの困りごと相談も実施します。

開催日時

7月28日(金)
午前10時~12時

対 象

市内在住の
65歳以上の方で
スマホの操作方法にお悩みの方

定員20名
(先着順)

場 所

社会福祉協議会本部(栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階)

内 容

講座:『スマホならではの機能』の体験
(スマホ活用術:90分) 講師:ソフトバンク株式会社

- ※スマホをお持ちでない方も参加できます。
- ※どの携帯会社を利用していても参加できます。
- ※講座後、ボランティアの皆さんによるスマホ困りごと相談を実施いたします。

申込み:6月5日(月)午前9時から本部へ(Tel85-7024)

令和4年度 福祉体験作文コンクール優秀作品

このコンクールは、児童・生徒がボランティア活動などの体験を通し、感じたことや考えたことを作文に表すコンクールです。愛知県社会福祉協議会での審査の結果、一宮市から1編が優秀作品として入選しましたので、紹介します。※令和4年度時点の学校・学年です。

「利他共生」

一宮市立浅井中学校
3年 福田 風紗さん



「グループホームはここに居る人達全員が家族なんですよ」という職員の方の言葉を頭に置きながら今日一日ボランティア体験を頑張ろうと思いました。

まず初めに、おばあさん二人と職員の方と一緒に楽しくお話をしました。職員の方が離れた後、一人のおばあさんから「あなた達はここを施設と呼んでいるの?」と険しい表情で尋ねられました。私は何と答えたらいいのか戸惑いながらも、グループホームの名前を言つて、「施設と呼んではいけませんよ」と伝えました。おばあさんは「そうか」と言つて、安心した表情になりました。そして、「ここは温かくて明くてとても良い所なんだよ」と言われたので私も同調しました。少し経つと、また険しい表情で質問をされました。私は度目と同じ返答をし、おばあさんも同じ事を繰り返し話ししてくれました。そして、三度目の同じ質問をされた時、私は考えました。このおばあさんは、何を言ったら喜んでくれるのだろう。私は、おばあさんの返答を真似てみようと思いました。「ここは温かくて、明るくてとても良い所ですね」と言いました。するとおばあさんは、ぼろぼろと涙を流し「ありがとうね」と言いました。ずっと泣き続けるおばあさんを見て、隣でずっと聞いていたおばあさんが、そっと手を肩にのせて、「家族と離れてね:」と言いながら、その方まで泣き出してしまいました。私は動揺し、おばあさ

んからありがとうと言われたことをすっかり忘れ、「どうしよう。泣かせてしまった」と悲しくなり、泣きそうになりました。その時職員の方が気づき、あえて話には触れずにおばあさんにちり紙を手渡し、隣のおばあさんには、「何で〇〇さんまで泣いているの? もらい泣き?」と声を掛けました。私は、そばで他の利用者さんと話をしてたのに、私達の会話も気にかけてくれていたのだと感じ、とても感動しました。私は三回目で答えを出すことができた嬉しさの半面、もっと早く気付いていれば良かったと反省しました。

昼食中、あるおばあさんが無表情でいる様子に気付きました。私はそのおばあさんが、□元に手を添えて□を隠す素振りをしていた事に気付き、「マスクですか?」と自分のマスクを指しながら聞きました。頷いていたので、職員の方に伝えたと、「いつも薬を飲んで、歯磨きをしてからマスクをつけるのよ」と教えてくれました。そのおばあさんは、いつもその素振りを見せるのだそうです。私はその時、余計な事を言つてしまい、職員の方に時間をとらせてしまったのかと不安になりました。しかし、職員の方が「薬を飲みましょうね」と言つて、薬を準備しに行った時に、おばあさんが、「気付いてくれてありがとう」とニツリして言ってくれました。その二言で、さうきまでの不安は消えて私まで嬉しくなりました。

昼食後、私は元気なおばあさんの隣でちぎり絵を手伝つことになりました。おばあさんは、ちぎった紙をシールだと勘違いをしていたのか、はがそうと必死でした。「これはのりを付けて貼るですよ」と伝えて、一緒に貼

ました。おばあさんは「昔はできたんだけどね」と何度も言っていました。認知症になる前は簡単に出来た事が、今はできないと思うというのは、本人にとつて、とても辛い症状だと感じ悲しくなりました。でも、今の私にできることは、楽しくちぎり絵を進めていく事だけです。そうして一緒に作業をしていくうちに、共感をするというこの大切さを知りました。作業中、この表現は失礼かもしれませんが、おばあさんが紙を貼ることができたと共に感動したり、のりが塗れた事を共に喜んで、これを何度も繰り返し、私の心は癒されて、とても温かくなり、愛しいと感じるようになりました。

このボランティア活動で沢山の事を学び、感じ、考えるきっかけができました。認知症の方が、繰り返し尋ねる事に対して「さっき言ったよ」と言つて不安にさせる事や、傷つける事を絶対に言わない。そして、何度も丁寧に寄り添い声を掛けてあげる事が大切だと学びました。私は初め「何かしてあげたい」という思いでした。しかし、私がしてもらっていたのだと感じました。利用者さん達と一緒に過ごすことで、心が穏やかになりました。

私の学校の目標には「利他共生」という言葉があります。今回のボランティア活動で、私の将来の夢、看護師への道がしっかりと見え、他の人の為に尽くし、共に共感しながら生きる喜びを分かち合える、そんな人になりたいです。コロナ禍で大変な中、ボランティアの体験が出来た事には、本当に感謝しています。今後も夢に向かって、勉強していきたいと思っています。

皆さまのご支援・ご協力ありがとうございました

令和4年度 赤い羽根共同募金最終実績 (実施期間:令和4年10月1日～令和5年3月31日)

募金種別	目標額 (円)	募金額 (円)	達成率 (%)
戸別募金	31,000,000	27,732,986	89.5
法人・個人大口募金	9,200,000	7,474,200	81.2
学校募金	1,400,000	1,192,292	85.2
街頭募金	500,000	448,063	89.6
職域募金	400,000	416,145	104.0
イベント・窓口募金等	500,000	1,030,143	206.0
合 計	43,000,000	38,293,829	89.1



感染症対策を徹底して
街頭募金を実施



令和3年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような募金活動の実施が困難な状況でした。しかし、このような状況下でも、町内会やボランティアの方々のご協力により、市民の皆さまから温かいご寄付をお寄せいただきました。

お寄せいただいた募金については、市内の生活課題や地域課題を解決するためのさまざまな福祉活動のほか、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

令和5年度につきましても“じぶんの町を良くするしくみ”に引き続きご協力よろしく願いいたします。

多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、県共同募金会長から感謝状が贈呈されました。

一宮市民生児童委員協議会 / 一宮市職員労働組合 / 有限会社マガジン /

株式会社マサノ / 株式会社星和 ミカドグループ /

学校法人愛知真和学園 大成中学・高等学校 / 一般社団法人一宮市医師会 /

愛知県美容業生活衛生同業組合一宮支部 / 大野哲男 / 鈴木日出男 (敬称略・順不同)

一宮市共同募金委員会

知っておこう!

災害ボランティア活動の前に



災害が起きた際、復旧・復興にボランティアの力は欠かせません。南海トラフ地震では、被災地域が広域になることが予想され、遠方からのボランティアが都市部（名古屋市など）に集中し、周辺地域でボランティアが不足するのではと不安視されています。

そこで頼りになるのが、地元ボランティアです。経験者・未経験者を問いませんので、いざというときは、ぜひその力を貸してください。老若男女問わず活躍の場はあります！

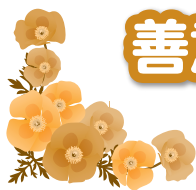
一宮市では、災害VC*の設置は行政、運営は民間（社協）で行う「公設民営型」となっています。発災後、災害VCからの情報発信は社協ウェブサイトを活用する予定です。活動をお考えの方は事前の情報確認をお願いします。遠隔地での災害ボランティア活動に参加する際も、必ず現地ボランティアセンターの情報を、ウェブサイトなどから確認するようにご注意ください。電話での問い合わせが多くなると、被災地の大変な負担となります。災害VCの負担軽減にもご配慮をお願いします。

※災害VC・・・災害ボランティアセンター

138sk

検索





善意のご寄付ありがとうございました

令和4年12月1日～令和5年3月31日現在

合計2,544,478円



(敬称略・順不同)

エス・ビー建材(株) / (株)壱番屋 / 一宮市グラウンド・ゴルフ協会 / (株)一宮看板店 /
豊島(株) / 尾張中小企業協会 / 一宮東ライオンズクラブ / 木曽川商工会 女性部 /
坂井田ビル / 豊田合成(株) 尾西工場 / (株)セブン-イレブン・ジャパン /
清水建設(株)一宮地区職長会 / 他匿名4件

ワンポイント Q&A

オーラル・フレイルの予防について



Q：オーラル・フレイルとは何か教えてください。

A：健康と要介護の間には、筋力や心身の活力が低下する「フレイル」と呼ばれる段階があります。

その際に「オーラル・フレイル(歯と口腔機能の衰え)」の症状が現れます。

例えば、

- ① 食事の際に食べこぼすようになった
- ② 固いものが噛めなくなった
- ③ 飲み込む際にむせるようになった
- ④ 活舌が悪くなった

といった状態が続くようになることがあります。

○ いつまでも自分の歯でおいしく味わいましょう

80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保つように、子どもの時から歯と歯肉の健康に取り組みましょう。(8020 運動)

人には一般的に 28 本ありますが、20 本あればほとんどの食べ物をおいしく食べることができるといわれています。

○ 高齢期の口腔ケアのポイント

高齢期になられた方は、次の点に注意しましょう。

POINT 1 自分に合った歯ブラシや歯間ブラシなどを使用し、隅々まできれいに磨きましょう。

POINT 2 噛む力や飲み込む力をつける体操などをすることで、顔面や口を良く動かし口の健康を保ちましょう。

POINT 3 栄養のバランスのとれた食事をしっかり噛んで食べましょう。

※毎年 6 月 4 日から 10 日は「歯と口の健康週間」です。

※上記の内容はあくまでも一般的なもので、歯や心身の状態によっては、当てはまらないこともありますので、ご注意ください。自身の状態についてわからなくなったり、心配になった時には、その都度医師や歯科医師などに確認してください。



ボランティア紹介リレー

第29回

今回は、『あそびのまほう』からの紹介で、『ココラポ』をご紹介します。

「ココラポ」とは？

ダウン症児家族が集まるおしゃべり広場です。妊娠中にお子様がダウン症と診断されたご家族や、ダウン症児を育てるご家族が早期に繋がることを目標とし、不安や悩みに寄り添います。

一宮市市民活動支援センターで、定期的に集まりを開催している団体です。



主な活動は？

月に1度一宮市市民活動支援センターの会議室をお借りして集まりを開催します。通院・療育などの情報交換をしたり、今抱えてるお悩みの相談を聞いたり、お子様の成長を一緒に喜んだり、参加されるご家族に寄り添うことを一番に考えています。週末に開催する際はきょうだい児さんと一緒に参加できる製作や、ミニゲーム等を企画し全員が楽しいと思えるようにしています。

活動を始めた経緯は？

私の第三子の息子が、5歳のダウン症児です。産後間もなくは、どのように育てたらいいのか不安でしたが、育てていくうちに「あれ？意外に普通じゃん」って思ったんです。息子を出産しSNSで同世代の親子と繋がり、お会いする中で私自身もちょっとずつ先輩になり、産後間もないご家族と繋がる機会も増えてきました。ちょうどその頃、名古屋市でダウン症児家族の集まりをやっていた友人に一宮市でもやらないかと誘われたことをきっかけに、ココラポを始めました。

活動のやりがいとは？

初めて参加されるときは皆さん緊張されたり、不安を抱えていらっしゃる方も多いですが、会場には生まれて間もないお子様から小学生の子もいます。少し大きいお子様を見て「うちもあんな風に大きくなれますか？」「歩けますか？」と聞かれ、「個人差はあるけど歩けますよ！大丈夫です！」と話していると、そんな日が楽しみだって笑顔になってもらえます。色んな悩みはありますが、同じ様な悩みで辛かった過去が、誰かの笑顔に繋がっていることが嬉しいです。



市民の皆様へひとこと

障害児(者)と言うと普通とは違う、特別だと思ってしまう方が多いのではないのでしょうか？世の中には沢山の障害があります。その中の『ダウン症』は発達もゆっくりです。支援が必要なことも多いですが、それは特別なことではないと思います。皆さんにも得意、不得意がある。それと同じだと私は考えます。一人ひとり特別でかけがえのない存在です。皆が少しでも生きやすくするためにはまず『知る』ということ。毎年3月21日は国連が定めた『世界ダウン症の日』です。2023年のテーマはWith Us Not For Us 「私たちのために、ではなく、わたしたちとともに」日本語のコピーはともに手をたずさえて歩むイメージから「手をつなごう」「私たちのことを知ってね」となっています。

ご依頼などがあればお邪魔させていただきますので、ぜひこの子たちと触れ合って、正しく知っていただけたら嬉しいです。

おすすめ福祉の本

いろいろな 家族のほん



図書館で借りることができます。

著者:メアリ・ホフマン 絵:ロス・アスフィス 訳:杉本 詠美 少年写真新聞社

昔の本に出てくる家族はたいてい同じだけど、実際の家族にはいろいろな形がある。家も、人数も、服も、食事も、性別も、趣味も気分も、それぞれ違う。どんな暮らし方をしても家族は家族。

どのページを開いてもいろいろな家族や暮らし方が発見できる。楽しいイラストを見ながら、多様性が分かる、そんな一冊です。

一宮興道高等学校

愛知県立一宮興道高等学校ではJRC部というボランティアをしている部活動があります。今回はJRC部の取り組みと一宮興道高校で実施されている福祉活動について紹介します。

JRCとは Junior Red Cross(青少年赤十字)の略です

赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。

JRC部のボランティア活動

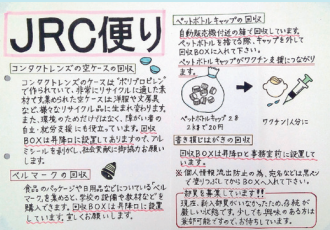


あしなが育英会(子どもたちを奨学金、教育支援、心のケアで支える民間非営利団体)の募金活動へ参加されています。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年程中止となっていましたが、今年度より募金活動への協力を再開されるそうです。



◇校内に掲示しているお便り◇



校内でできる活動としてペットボトルのキャップ、書き損じはがき、コンタクトレンズの空き容器などを回収されています。回収した物は活用いただける団体に送付し、各種福祉活動に役立てられます。



JRC部では校内・地域に向けた緑化活動にも取り組まれています。部員の皆さんが校門前の花の手入れを行うことで生徒や地域の方の癒しを生み出しています。



毎年、2年生が「清掃ボランティア」を実施されています。この行事は、日頃利用している島氏永駅周辺から学校の西側まで、区域を分担して清掃活動を行うものです。日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちで実施されています。

取材を通して、一宮興道高等学校JRC部の活動状況や学校全体でボランティア活動をされている様子が分かりました。今後も一宮興道高校で行われるボランティア活動への応援よろしく願います。

令和5年度 新入職員紹介

今春、新たに2名が一宮市社会福祉協議会の職員として加わるようになりました。皆さんに早く顔と名前を覚えていただくため、簡単ですが紹介させていただきます。

- ①吉田まどか(よしだまどか)
- ②絵を描くこと
- ③焼きそば
- ④おっとり
- ⑤一宮の福祉に少しでもお役に立てれば幸いです。よろしくお願いします。

- ①氏名
- ②趣味
- ③好きな食べ物
- ④性格
- ⑤ひとことPR

- ①石田桃子(いしだももこ)
- ②トロンボーン
- ③オリーブ
- ④温厚
- ⑤精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



どうぞよろしくお願いします。

車いす
使用の職員
発信

車いすといっしょに



第19回「衣替え」

衣替えの季節になりました。私は衣服の着脱動作になにかと手間取ってしまいがちなため、着やすさ・履きやすさ・付けやすさを基準に選んでいます。勤務中は、より通気性が高いものを着ることが多いです。また、衣服が車いすのタイヤやベルトでよく擦れてしまうので、生地が丈夫か、汚れに強い点も重視しています。体型に合うものが限られるボトムス選びは比較的難しく、家族といくつか店をまわって探す場合もあります。色の取り合わせなど、ひとりで判断しづらいことにアドバイスをもらえるのはありがたいです。(小鹿)

フック式のネクタイは
付け外しがしやすいです。

障害者スポーツの紹介

「車いすフェンシング」

車いすフェンシングでは、一般のフェンシングと同様に技が有効となる部位によって種目が分かれており、それに応じて選手の服装が異なります。胴体だけを突く「フルーレ」、上半身の突きを行う「エペ」、上半身の突きに斬る動作が加わった「サーブル」の3種目です。審判は、電子審判器による判定の最終確認や、選手同士の距離の調整などを担います。試合で使用されるのは、座面の高さが決められた専用の車いすです。また、車いすは専門のスタッフによって「ピスト」とよばれる台に110度の角度で固定されます。選手が身体を乗り出しても安全のようにタイヤは留め金に置かれ、前輪もベルトで補強して留めます。





広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

スリランカで国際協力活動

TFGプロジェクトのその後

NPO法人タランガフレンドシップグループ(TFG)はスリランカの低開発村の青少年のために研修事業を行いました。2007年から2008年にかけて、JICA草の根技術協力事業を行いました。

その後、2009年に東海地域NGO活動助成金を活用し、農業技術研修を行いました。2010年には郵便貯金が行う国際ボランティア貯金寄付金配分事業からの配分金を利用し、農業経営研修及び畜産研修を行いました。

スリランカでは、2009年5月に四半世紀に及ぶ内戦が終了しました。2010年にWTI(北西州研修施設)で農業経営研修を行いました。その時、北西州政府のスタッフの方々が研修を受けており、研修後戦場だった北部に復興のため派遣されるとのことでした。内戦が終わり、平和となり、国民による復興が始まっていました。

TFGは、2010年11月には研修事業で使っていたミシン10数台を修理し、研修生に贈与しました。これで、TFGが行う研修事業の役割も終わったと思いました。(日置)



畜産研修のために畜産局の施設を借りる
北西州畜産局長の執務室にて2010年撮影

明るい陽射しが見えてきた世の中

感染症対策も緩和され、ようやく新型コロナという長いトンネルを抜けて、明るい陽射しが見えてきた世の中になりました。

人の動きも活発化してコロナ以前の社会に戻ろうとしています。心なしか街ゆく人々に笑顔が増えている気もしている今日この頃です。

春先の大きな出来事といえば、野球やスケートの世界大会優勝がありました。

野球は本当に一世を風靡しましたね。まだまだアフターコロナで辛い時期が続いていくであろう時に本当に元気を届けていただきました。

みんなで応援し、熱気の渦が巻いている報道を見ていて、本格的に社会活動も再開している実感を受けます。

読者の皆様の周りの環境はいかがでしょうか?3年ぶりに開催されるイベントも多いのではないのでしょうか?我々も本格的に取材活動を再開させたいと思っておりますので、取り上げてほしい地域のイベントなどございましたら、ぜひ取材に伺わせていただきますので情報をお寄せください。

それでは今年度もよろしくお願いします。(岩下)

★車いすの貸し出し

ご利用ください

対象者：身体に障害のある方、けがをされた方など
一時的に利用が必要な方にお貸しします。

利用料：無料

貸出場所：本部・尾西支部・木曽川支部・大和事務所



子ども用



大人用

ボランティアセンターにご登録を!

登録すると、ボランティアに関する情報発信のほか、以下の特典もあります

★会議室の利用

尾西支部・木曽川支部・大和事務所の会議室やボランティア室が利用できます。

★用具の貸し出し

高齢者疑似体験セットなどの福祉用具や、レクリエーション用具、マイクセットなどが利用できます。

貸出
用具の
一部



サーキュレーター



将棋



ミニボーリング

あなたの力を
貸してください!!

ボランティアさん大募集

●ちょこボラ協力会員

自分のできる範囲で、困っている高齢者に、“ちょこっと”したお手伝いをしてみませんか?

企業・法人会員も募集中

●一芸ボランティア

施設やサロンなどで、歌や踊り、手品などの披露や、小物作りの指導などを行っていただけ方を募集中

●おもちゃ図書館運営ボランティア

市内に2か所(浅井町、丹陽町)あるおもちゃ図書館で、受付やおもちゃの作成などをしていただける方を募集中

【問合せ】本部 Tel.85-7024

?応募!クイズ

図書カード
¥1,000

発災後、災害ボランティアセンターからの情報発信は社協〇〇〇〇〇〇〇を活用する予定です。〇に入る言葉は何でしょう? ヒント10ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします!

①クイズの答え ②本紙に対するご意見・ご感想
③住所 ④氏名 ⑤年齢

を明記のうえ、ハガキにてご応募ください。

【令和5年6月30日(金)必着】

〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて

2月号クイズ当選者発表(応募総数108通) 成瀬様(浅井町) 猿渡様(大和町) 今井様(大和町) 日比野様(木曽川町) 前田様(浅井町)おめでとうございます。

クイズの答え:福祉実践

市内の福祉・保健・
医療関係者の皆さまへ

広告募集中

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm

最大4枠

【掲載料】1回1枠 20,000円

複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(Tel:85-7024)まで



本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト <https://www.138sk.org>